学力向上５か年プラン・プロジェクトⅡ

方策１質的授業改善【日常化する】

単元プランシート

**児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を育成するために単元や題材など内容や時間のまとまりをどのように構成するか単元プランをデザインし、「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善を推進する。**

総則編小中P77参照

「思考力、判断力、表現力等」とは、「知識及び技能」を活用して課題を解決するために必要な力である。

課題を解決する過程は、

・　物事の中から問題を見いだし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程

・　精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によって表現したり、目的や場面、状況等に応じて互いの考えを適切に伝え合い、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりしていく過程

・　思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく過程

等の問題発見・解決の過程を単元に設定する。

評価・改善

各教科等の「見方・考え方」を習得・活用・探究の過程の中で働かせて、新しい知識及び技能を既にもっている知識及び技能と結び付けながら社会の中で生きて働くものとして習得したり、思考力、判断力、表現力等を豊かなものとしたり、社会や世界にどのように関わるかの視座を形成したりする。「見方・考え方」を明らかにすることで、児童生徒が着目すべき対象や内容、対象へのアプローチの仕方など、具体的な授業展開に生かす。

「見方・考え方」を働かせて

主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか、学びの深まりをつくりだすために、児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった観点で単元をデザインする。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元デザイン

思考力・判断力・表現力等の育成

組織的につなぐ

　児童生徒の学習状況を単元のまとまりの中で適切に評価を実施できるように計画的にタイミングと方法等を設定する。その際、指導に生かす評価場面、総括的な評価に活かす場面を設定し、児童生徒にどのような資質・能力が身についたかを的確に捉え授業改善に生かす、児童生徒が自らの学習を振り返り次の学習に向かえるよう学習改善に生かす。

総則編小中P78参照

総則編小中P78参照

総則編小P93中91参照

　学校教育目標、目指す児童生徒像の具現化、学校で育成を目指す資質・能力を意識するとともに、カリキュラムマネジメントの視点から学校の校内研究との関わりを明らかにし、単元プランをデザインする。

　□学校教育目標

　□目指す児童生徒の姿

　□教科の目標

単元をデザインする

　目標を設定する

　□学習指導要領における位置づけ□単元で育成する資質・能力

□教科等における「見方・考え方」

　教材・児童生徒の実態を把握する

□児童生徒一人一人の学習のレディネス

　　既習事項の定着度

□学習への関心・生活経験の有無

□評価の観点からの実態

□予想されるつまずき

□児童生徒の思いや願い

□主たる教材である教科書の内容吟味

□教材に関する基礎的・基本的事項

□教材の系統性

□教えることと学ばせること

□教科等の横断的な視点

　指導の計画を組立てる

□各場面での児童生徒の姿、教師の働きかけの意図を明確にする

□児童生徒が考える場面と教師が教える場面

□主体的に学習を見通したり、振り返る場面

□自分の力で課題に向かう場面

□ペア・グループで対話をする場面

□単元や領域のつながりを確認する

授業をデザインする（授業プランシート）

本時のねらい

□ねらいを基に評価規準を設定し**、**めざす児童生徒の姿を明らかにする

□働かせたい見方・考え方を明らかにする

□「目的（身に付けさせたい力など）」と「手立て（どのような学習活動）」を明らかにして設定する

□「児童生徒にどのような力が身についたか」という学習の成果をどの場面、方法でみとるか明らかにして設定する

めあて・まとめ・振り返り

□児童生徒が「なぜ」「～したい」等の課題意識をもたせる働きかけ

□「まとめ」は児童生徒が「何を学んだのか」を明確にする

□「振り返り」は、児童生徒が「到達すべき目標」に対して、見通しを持ち、「自分がどこまでできるようになったのか」「自分の学びを高めるために何が必要か」の視点でアウトプットする

本時の展開

□児童生徒の「問い」を引き出すために、教材との出**会**いを工夫する

□「何ができればよいのか」明確にして、解決への見通しを立てる

□自分の考えをもたせる場面、自分の考えを広げ深める場面、「見方・考え方」を働かせる場面を意識する

単元プランシート

学校で育てたい資質・能力

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学校第　　　　学年 | **【単元名】** |  （　　　　時間扱い） |

**単元の目標**

（１）

（２）

（３）

**単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|  |  |  |

働かせる見方・考え方：

**単元構想**

前単元

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階日付 | 学習活動（□）と児童生徒の反応（○） | 学習を支える教師の働きかけ | 評価・他教科 |
|  |  |  |  |

後単元

授業プランシート（　　　　　　　　）　　　月　　　日　（　　　）　　　年　　　組

単元名

（　　／　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　授業者：

|  |
| --- |
| １　本時のねらい |
|  | （評価場面方法） |
| ２　めあて、まとめ、振り返り |  |
| （まとめ） ｓ正対 | （めあて） |
| （振り返り）  |
| ３　本時の展開 |  |
|   |
| ４　板書レイアウト等 |  |
|  |

授業後

|  |
| --- |
| ５　授業の実際（板書）　　※写真を添付 |
|  |
| ６　児童生徒のノート　　※写真を添付 |
|  |
| ７　授業の振り返り |
|  |
| ８　これからの授業デザインに向けて |
|  |